

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	建設部担当課長(運河河川管理担当)
施策名	港の安全性・信頼性の向上		連絡先	052-698-3680
事務事業名	堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用		連携課	事業推進課、管財課、施設工事担当
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・防潮扉等	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。		
概要	堀川口の防潮水門・ポンプ施設および港内の防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。		根拠法令等	海岸法第14条の5 堀川口防潮水門操作要綱第15条
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	307,490	400,438	470,970	392,966	堀川口防潮水門の耐震補強工事の実施により増額しました。
人件費	千円	77,343	78,309	80,688	78,780	
合計	千円	384,833	478,747	551,658	471,746	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
災害時の施設の故障発生件数(件)	目標	0	0	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。		
	実績	0	0	0				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る 目標値どおり 目標値を下回る					
施設の年間試運転回数(回)	目標	228	222	222	222	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。平成28年度より引き続き、水門耐震補強工事の施工に伴い、年間試運転回数が減少しています。		
	実績	228	222	222				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る 目標値どおり 目標値を下回る					
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	堀川口防潮水門・ポンプ所・防潮扉について、直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時に異常なく稼働しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					海岸管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					災害に備え、海岸保全施設としての機能維持ができ、災害時に異常なく稼働しています。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しています。	

4 ACTION(取組)

課題	30年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理が要求されます。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。